



多古高校は県内の高校としては初めて平成24年度に「コミュニティ・スクール」に指定されました。

「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会制度）は、保護者や地域の方々などで構成される「学校運営協議会」を通じて、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、よりよい教育を目指すという、地域に支えられる学校づくりの仕組みです。

コミュニティ・スクール情報誌

TAKO

千葉県立多古高等学校

かわら版 Vol.1

～地域と共に。コミュニティ・スクール～

平成26年10月 農場の蕎麦の花

ご挨拶

千葉県立多古高等学校

校長 太田 臣一

町立農学校として設立来一〇七年間、この町に凛としてある高等学校。

学年八クラス規模を誇ったこの学校も、さすがに時代の趨勢には抗しえない。

来年度募集は普通科二クラス、生産流通科一クラス。進む少子化。

「少々距離感があるか？」三年前赴任した時の、ふとした私の思い。

ぶ厚い透明の防弾ガラスが、町の人々とこの学校等の間にあるような気がしてならなかった。その厚さが薄くなり、高さが低くなったとはいえ、今もその見えぬ壁は消えてはいない気がする。

一つの地域に、一つの町に学校が存在することの意義は計り知れない。おそらく、いや間違いない存在しなくなったときに、そのもの悲しさの人々は震えるのだらうと思う。

コミュニティ・スクール指定を受けて三年。地域の人々、町行政の方々、教育関係者、卒業生等々さまざまな方々が、熱い思いを抱きつつ、この学校とのかかわりを模索し始めた。また、学校も同様である。

「学校おこしで、町おこし」。学校は常に町とともに生きていく。

学校は、文化の灯台たるべき。職員ともどもさらに一歩前進を。町とともに。

「おはようございます」の一言は、
一日を心地よくはじめる魔法です。



多古高校卒の先輩より

NPO法人「都市と農村交流協会」
理事長

学校運営協議会委員
生徒指導プロジェクト

小川 成義さん

多古高校学校運営協議会では、
二年前の四月から生徒の登校時間
にあわせ、八時から八時四〇分ま
で、毎朝校門で挨拶運動を実施し
ています。二人組の当番表によ
り、輪番で行っています。当番に
かわりなく、毎朝来てくれる生
徒指導班のメンバーや、地域の有
志の方も参加してくれているの
で、四〜五人で行っていることが
多いです。

極寒の現在は、大きな声で寒さ
を紛らわせています。特に風の強
い日や雨天の日はきびしいが、休
まず継続しています。多古高校は
交通の便が悪いので、家族の車で
の送迎も多いが、寒風の中をバイ

クや自転車で元気に登校してくる
生徒も多いです。そんな生徒たち
には、「おはようございます。寒
かったでしょう。よくがんばって
登校したね」と心からエールを送
っています。

毎朝挨拶を交わしながら感心さ
せられていることがあります。①
気持ちのよい挨拶ができる生徒が
多い②明るく素直な生徒達である
③バイクも自転車も校門で下車
し、押して坂を登る約束が一〇〇
%守られている④バイクをきれいに
掃除して乗っている生徒が多い。
等々です。多古高校の良さを
もっと多くの人に知って欲しいと
思っています。

